

いわきのなかま 平和学習

本校では、各学年がそれぞれ適切な時期に平和学習を行いました。社会の出来事に興味・関心を持たせ、社会的な事柄を多角的に見ることができるようにすることで、互いの違いを知り、共に生きることができる資質や能力を育むことを目的としています。先の大戦での出来事を知り、日常の生活においても発生する対立をより平和的に解決できるなど、自分と他者を大切にできるようになってほしいと思っています。

各学年の取り組みを紹介します。

1年 『よっちゃんのびいだま』

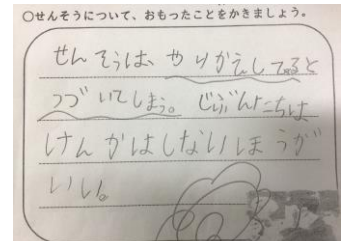
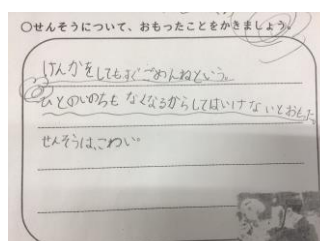
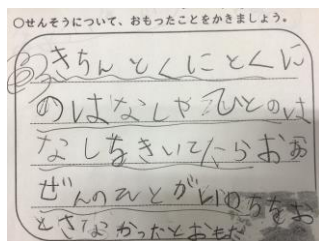
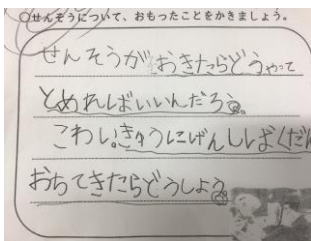
ねらい

広島で被爆死した少年の物語を通して、戦争の恐ろしさや平和の尊さを感じ、命を大切にしていきたいという心情を育てる。

自分たちと同じ子どもが主人公の実話を通して、原爆の恐ろしさや大切な人が亡くなる悲しみを伝えることで、戦争について考える機会に繋がりました。

○戦争について、思ったことを書きましょう。

ワークシートに取り組んで意見交流を行うことで、戦争で家族を失う怖さや今の平和な日常の大切さに気が付くことができました。



2年 『かわいそうなぞう』 『へいわってどんなこと』

ねらい

戦争の悲惨さや恐ろしさを知り、命の大切さを考えることを通して、平和な世界を築いていきたいという心情を養う。

自分にとって大切な人や将来の夢を話し合い、戦争がおこれば今、当たり前だと思っている生活や、当たり前を訪れると思っている将来が奪われてしまうことに気付かせました。その後、『かわいそうなぞう』の絵本を読み聞かせしました。

○2頭が芸当をする姿を見て、ぞう係の人はどう思ったのでしょうか。

○トンキーが死んでしまったとき、動物園の人たちはどう思ったのでしょうか。

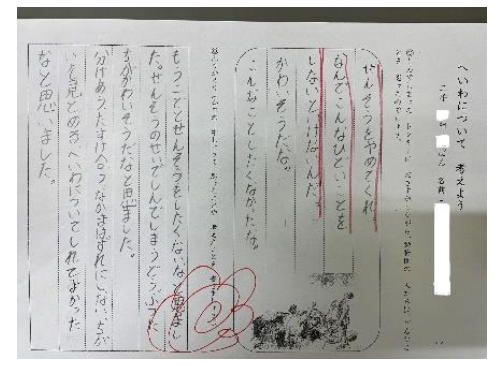
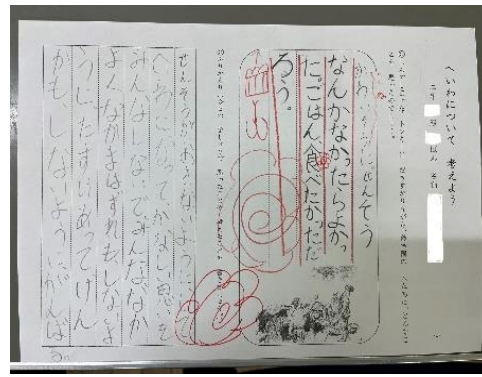
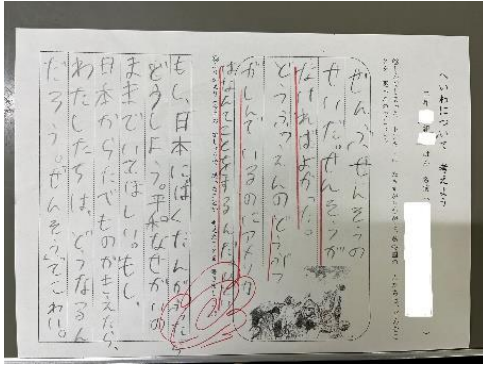
の2点を中心に考え、意見交流しました。戦争のことを知った後に、『へいわってどんなこと』の本を読み聞かせをしました。

○平和な世界にするためにどんなことが大切なのでしょう。

○誰でもご飯が食べられるようにするために、どんなことができるでしょう。

○好きなことを好きと言ったり、一人でも意見が言えるために、どんなことが大切なのでしょう。

などを子どもたちに考えさせ、意見交流をしました。少し難しい内容でしたが、互いに認め合い尊重し合うことの大切さに目を向けることができました。



3年 『21世紀サダコストーリー』『沖縄慰霊の日』『原爆投下について』

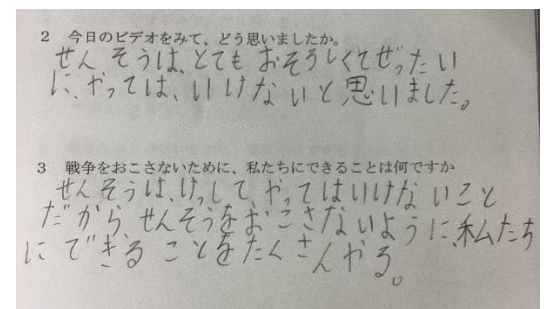
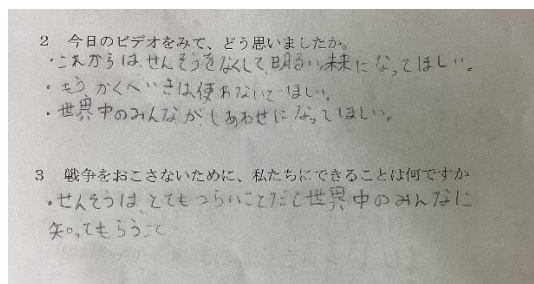
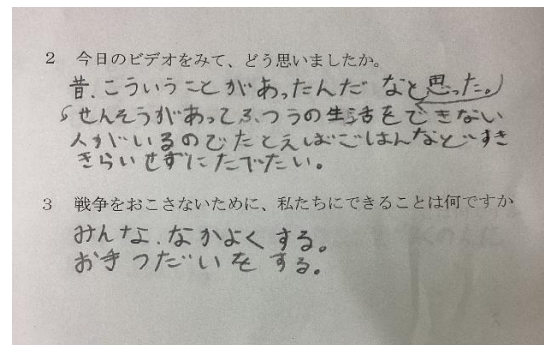
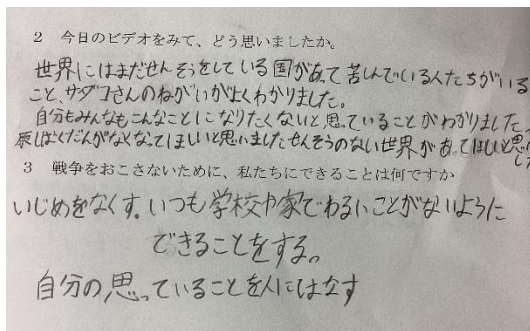
ねらい

悲惨な沖縄戦や原爆投下を通して77年前にあった事実を伝え、知ることで、自分がどのような行動を起こすべきかを考える。

現在は観光地としての側面が強い沖縄県のイメージを児童と共有し、今から77年前の出来事との対比をしました。上空からの沖縄戦没者墓苑の写真を見せ、戦没者の名前が一人ずつ刻まれていることを伝えることで、多くの方が亡くなったイメージができるように工夫しました。

また、『21世紀サダコストーリー』を視聴し、児童と年齢の近い佐々木貞子氏の「生きたい」という願いや、千羽鶴に込められた思いも伝えた。

そして、戦争をおこさないために、自分ができることについて考えた。



4年 「平和について考えよう」～SDGs16（平和と公正をすべての人に）～

なぜロシアとウクライナは戦争をするのでしょうか。

本当の理由はわからないものなのかもしれません。しかし、わかっている事実から、だれもが持つであろうこの疑問を子どもたちとともに考えてみました。人（国々）との関わりの中で生活する、子どもたちや我々（日本）にとって、争い（戦争）のない時代をつくることは、永遠の課題です。

SDGs16 の調べ学習を通して、平和な世界を目指して、自分にできそうなことはないのかを4年生なりに、みんなで考えました。

1. ロシアとウクライナの戦争について

知ったことや思ったことを書きましょう。

日本は戦争はしない法リフなのに NATO の手助けをしているのはおかしいなと思いました。
もし、ロシアが兵器を使うことになる、日本も手助けをしていたので落とされることを考えるとこの戦争には自分たちも関係していることを知りました。

1. ロシアとウクライナの戦争について

知ったことや思ったことを書きましょう。

・ロシアとウクライナが戦争している理由が分かった。
・社会主義がわかった。

2. 自分にできそうなことは何ですか？

正しい情報かわからないことはいくら流さない!

1. ロシアとウクライナの戦争について

知ったことや思ったことを書きましょう。

私のまわりには流れている情報は、必ずしも正しいことではないと思います。
今まではロシアがほとんど悪いと思っていましたが、ウクライナにもロシアにも悪い部分があると思いました。
日本はこれから戦争はないでしょう。
戦争なんてやっても人が死んでお金がなくなると困るためにこんなことなんてしてほしくないです。今すぐやめてほしいです。

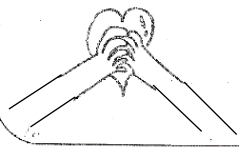

1. ロシアとウクライナの戦争について

知ったことや思ったことを書きましょう。

・ロシアはただ戦争しているのではない!
・ウクライナは大変な思いをしている。
ロシアもはじまりの場を大切にすため、それぞれを思いをしている!

2. 自分にできそうなことは何ですか？

日ごろから友達とはほうが悪口をいうのでなく、たがいに協力できるようにすれば、しょうと良い世の中になると思っています。

2. 自分にできそうなことは何ですか？

→世界のどこかでほうが悪い死かおきていることをリかいする。
・みんなで協力。
・法リフを守る自分になる。
・うそをつかない。
・自分で考える。・おたけんかをしな。・話し合っていけ!!
・ほ金・あかり合。・相違ものことを知る!
(知る)

2. 自分にできそうなことは何ですか？

・仲間はずれにほい!
・けんかして、ほうがよくはうるわない!
・や、ていいかわるいことか、考える!

5年『夏服の少女たち』

ねらい

戦争や原子爆弾が、尊い命や人々の生活を奪う非人道的なものであることを理解し、平和を大切にすることを育む。

まず初めに、日本が今から77年前、世界のいろいろな国と戦争をしていたことについて触れ、その後、『夏

服の少女たち』という DVD を見ました。DVD 視聴のあとに、2つの視点でふりかえりをしました。1つ目は、「DVD を見て気づいたことや思ったこと。」2つ目は、「戦争のない世界にするには、1人1人がどのようなことに気を付けていくことが大切であるか。」という、2つの視点です。

子どもたちのふりかえりの中には、以下のようなことが書いてありました。

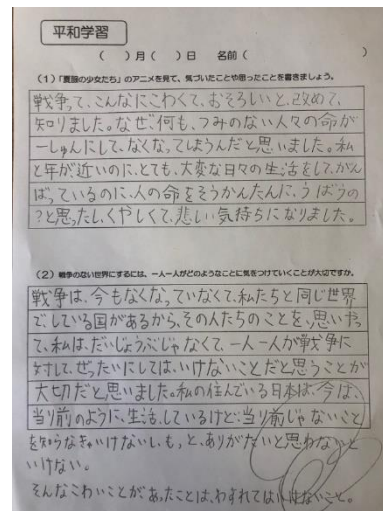
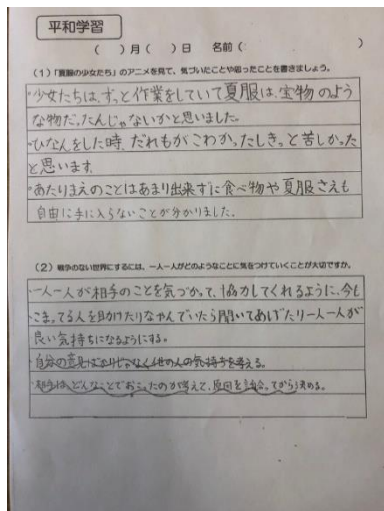
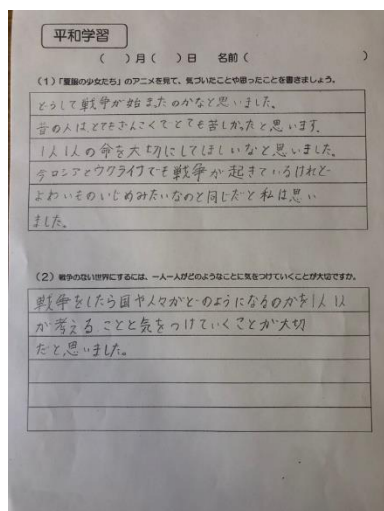
(視点1) DVD を見て気づいたことや思ったこと。

- ・爆弾からひなんした時、だれもがこわかったし、きっと苦しかったと思います。
- ・戦争は、とてもさんこくだなと思いました。
- ・今を大切に生きることの大事さに気づきました。
- ・物や食べ物を大事にしていけないと思いました。

(視点2) 戦争のない世界にするには、1人ひとりがどのようなことに気を付けていくことが大切であるか。

- ・相手のことを思いやることが大切だと思います。
- ・相手の気持ちを考えることが大切。
- ・人のいやなことをしないようにする。
- ・1人1人が心にゆとりをもってしっかり話し合う。
- ・けんかをする前に解決していくことが大切だと思う。
- ・自分の意見ばかりじゃなく、他の人の気持ちを考える。

現代の平和な日本からは想像できない戦争の姿でしたが、今も世界でおこっている戦争と照らし合わせながら、平和な世の中を続けていくことの大切さに改めて気づくことのできる貴重な時間になりました。



6年

「平和調べ」「ヒロシマのうた」

ねらい 平和学習を通して、命の尊さや平和の大切さに気づき、自分たちに何ができるかを考える。

- ・本年は、新型コロナウイルス対策のため、修学旅行において広島に行き、平和学習を行うことができなかった。そこで、総合の時間での平和調べと国語の時間において、「ヒロシマのうた」の学習の二本立てで平和学習を行った。

・総合の時間での平和調べ

戦争と衣食住、戦争と学校、戦争と娯楽（遊び）という3班に分かれて、戦争に関する本やipadを使い、調べ学習を行った。

○戦争中の人々の暮らし、衣類、食べ物を調べて、今との違いに驚いたり、戦争中は学校でも戦争に協力することを教えていたことについてとても衝撃を受けていた。

○戦争と娯楽（遊び）では、今の遊びの元祖を知り、「この時代にもこの遊びがあったんだ！」という声が聞かれた。



『ヒロシマのうた』

○被爆直後から戦後15年目の夏までの様子を読み取り、長い年月の間で、作中の人物や世の中にどんな変化があったのか、人物はどのような思いでいたのかを想像していく。

○戦争の悲惨さと、母親の愛情の深さ、「わたし」の心情について考えよう。

